

## MSI Marine News

トピックス



●海上保険の総合情報サイト **MARINE@vi** もぜひ、ご覧ください。([http://www.ms-ins.com/marine\\_navi/](http://www.ms-ins.com/marine_navi/))

## 海洋ゴミ～マイクロプラスチックの影響とマイクロビーズの規制拡大について

プラスチックは日常生活のあらゆる場面で使用され、欠かせない存在となっていますが、毎年少なくとも 800 万トン分のプラスチックが海に流出していると言われており、特にマイクロプラスチックに対する関心が国内外で高まっています。本稿ではマイクロプラスチックが環境に及ぼす影響とマイクロプラスチックのうちマイクロビーズに対する規制拡大の動きについてご紹介します。

### 1. マイクロプラスチックとは

マイクロプラスチックとは、マイクロサイズ（直径 5mm 以下）の微細プラスチック粒子のことをいいます。洗顔料・歯磨き粉などのスクラブ剤に利用されているマイクロビーズのように最初からマイクロサイズで生産された一次的マイクロプラスチックと、大きなサイズで生産されたプラスチックが自然環境中で破碎・細分化されてマイクロサイズになった二次的マイクロプラスチックに分類されます。

### 2. マイクロプラスチックが環境に及ぼす影響

マイクロプラスチックは生活污水などとして排出され、今では全世界の海洋に存在すると言われています。マイクロプラスチックは微生物やバクテリアによる分解が難しく、自然環境では完全に分解されないため、そのまま海洋に蓄積されることにより汚染が深刻化しています。また、化学物質を含有・吸着している恐れもあり、生態系への影響が懸念されています。海洋に排出されたマイクロプラスチックの回収は極めて困難であり、排出そのものを抑制する動きが広がっています。

### 3. マイクロビーズに対する海外での規制拡大の動き

欧米を中心にマイクロビーズの生産や販売、輸入を禁止する法的規制が発効または発効予定です。一部の国の例を以下にご紹介します。

米国	2017年7月発効	マイクロビーズが入った化粧品の生産禁止
	2018年7月発効予定	販売も禁止
イギリス	2018年1月発効予定	マイクロビーズが入った化粧品の生産禁止
	2018年6月発効予定	販売も禁止
韓国	2017年7月発効	マイクロビーズが入った化粧品の生産・輸入禁止
	2018年7月発効予定	販売も禁止
台湾	2018年7月発効予定	マイクロビーズが入った化粧品の生産・輸入・販売禁止

### 4. 日本の現状と今後の動き

2015年に行われた環境省の実態把握調査によると、日本の周辺海域では世界平均の27倍のマイクロプラスチックが存在しており、マイクロプラスチックによる汚染が問題となっています。日本では法的規制が導入される動きはありませんが、2016年3月に日本化粧品工業連合会が会員各社（約1,100社）にマイクロビーズの使用中止を要請するなど、自主的な規制の動きが見えています。しかし海外では既にマイクロビーズに対する法的規制が拡大していて、日本でも国内外の要請に応じる形で法的な規制が導入される可能性がありますので、今後の動きを注視する必要があります。

<参考文献> 環境省HP [http://www.env.go.jp/water/marine\\_litter/](http://www.env.go.jp/water/marine_litter/)  
 BEAT THE MICROBEAD HP <http://www.beatthemicrobead.org/>  
 『Plastic in Cosmetics』 UNEP(2015)

以上